

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

プレコンgresワークショップ5	
タイトル	“KAIZEN”を医療現場に
日時	6月12日(金) 16:00-19:00
企画責任者	鈴木 英雄 (実行委員会企画)
定員	48名
開催の目的・概要	
【開催の目的】 産業界で用いられている作業効率化の手法”KAIZEN”の医療版を体験し、日常業務に潜む様々なムダをなくすことで、職員の負担軽減、患者安全につなげます。	
【概要】 今や世界有数の企業となったトヨタが一時、経営危機に陥っていたことはあまり知られていません。その復活の原動力となったのが“KAIZEN”という作業の効率化です。“KAIZEN”の元となったのはTWI (Training Within Industry)という職場教育の手法で、戦後に米国から日本にもたらされました。TWIは仕事の教え方や改善の仕方、人の扱い方など4つのカテゴリーに分かれています。筑波大学総合診療科ではこのTWIを医療現場に応用し、TEAMS (Training for Effective&efficient Action in Medical Service)を開発しました。TEAMSの目的は、作業の効率化を図り、合理的な教え方を体得することで、患者に質の高い安全な医療を提供するとともに、職員がやりがいを持って働ける環境を作り上げることです。本ワークショップではTEAMSの中から改善する技能 (BP: Better Process)を取り上げ、そのエッセンスを提示し、実際に参加者に体験していただきます。医療現場には数多くのムダが隠れています。TEAMS-BP-を体得することで、業務の作業効率が上がり、職員の負担軽減、医療事故の削減が達成できます。日常業務でのムダを感じながら、どうしたらよいかわからない方、本ワークショップでその悩みは解決します。	